



中角・広角配光の投光器を分散配置することで、見上げた際のグレアを軽減

選手にも観客にも感動を与える サポーター目線のスタジアム

Jリーグ「ガンバ大阪」のホームスタジアムだった大阪府営万博記念競技場は、老朽化に加え収容人数不足などの課題を抱えていた。このため、約4万人の収容が可能で国際サッカー連盟の基準を満たした国際試合対応スタジアムが計画され、建設費の全額が寄付金と助成金により賄われた。建設にあたっては、ガンバ大阪が中心となるスタジアム建設募金団体が設立され、2014年には募金が目標額に到達。コンペ時の設計案ほぼそのままのスタジアムが完成した。特徴的なのは折り紙を思わせる直線的な屋根。

曲線を使わずに、徹底的な合理化と軽量化が追求されている。

屋根を支えるトラスのコーナー部分と両サイドのキャットウォークには、中角・広角配光タイプのLED投光器を配置。384灯の投光器を適正に配灯することにより、フィールドでは均斉度0.7以上、最小照度1500lxを確保し、選手がプレーしやすい照明環境を提供している。また、スタンドの大型ビジョンは自動火災報知設備や非常放送設備と連動しており、万一の場合には火災エリアや避難経路を大きく映し出す。これにより、数万人の観客が安全に避難できるように計画されている。

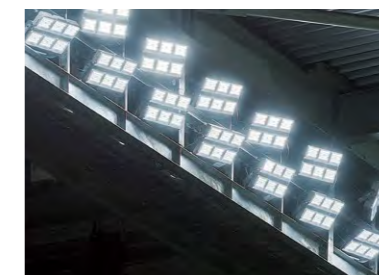
市立吹田サッカースタジアム

SUITA CITY FOOTBALL STADIUM

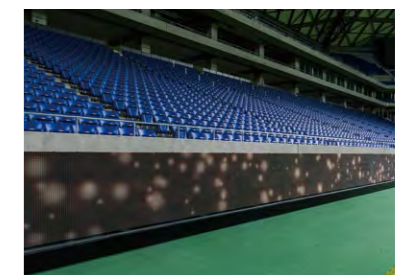


市立吹田サッカースタジアム

所在地 / 大阪府吹田市千里万博公園
 施主 / スタジアム建設募金団体
 設計・施工 / 株式会社竹中工務店
 電気工事 / 株式会社きんでん
 空調・機械工事 / 三建設備工業株式会社
 竣工 / 2015年9月



両サイドのキャットウォークに配置された
モジュールタイプLED投光器



ピッチサイドに配置された、ゲームを彩る
LEDサイネージ



非常時には火災エリアや避難経路も映し出す
大型映像装置



火災発生時には館内各所の避難誘導灯が
点滅して安全な避難を促す



防災センターの自動火災報知設備と非常放送設備



大型ビジョンからサイネージまで館内に映像を
送出する設備は避難誘導システムとも連携



屋根3カ所に設置された太陽電池モジュール
2,100枚で約500kWを発電

主な設備

- 競技用LED投光器
- LEDダウンライト
- ネットワークカメラ
- 自火報設備
- 非常放送設備
- 中央監視設備
- 太陽電池モジュール×2,100枚
約500kW
- 販売管理システム
- 施設管理システム
- 大型映像装置

360°動画で見る
スマートフォンを360°動かしながら
臨場感のある動画がご覧いただけます。



閲覧環境:
 ・iOS (8.0以降) およびYouTubeアプリ (最新バージョン)
 ・Android OS (4.2以降) およびYouTubeアプリ (最新バージョン)
 ※ iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標です。
 ※ YouTubeは、Google Inc.の登録商標です。
 ※ 記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。